

4	月	第 1 週	【主題名】理想の実現
【資料名】高く遠い夢（東京書籍）		【内容項目】1 - (2)	
【ねらい】 より高い目標を目指し、夢や希望に向かって着実にやり抜こうとする意欲を高める。			
【主題構成の理由】 夢や希望は、人間としてたくましく生きていくための原動力であり、支えである。人間の一生とは、その達成をめざす着実な努力の積み重ねである。真剣に自らの夢や希望をいだき、その実現のために着実に努力できる強い意志を身につけることが大切である。			
展 開 の 大 要	<p>1 みんなの夢や将来の目標は何だろう。 全員に用紙とマジックを配り、記入した物を黒板掲示 <ul style="list-style-type: none"> ・希望した職業に就く ・幸せな家庭を築く </p> <p>2 「高く遠い夢」を読んで話し合う。 ①藻岩山でおじいさん、おばあさんに追い越されてしまった作者はどのような思いだっただろうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えが甘かったのではないかと不安になった。 ・悔しい気持ち。 ・本当にエベレストに登頂できるのか自信がなくなった。 目標に対してくじけ、それを乗り越えた経験を明確にする。 ②作者が、世界最高齢でのエベレスト登頂を成し遂げることができたのはなぜだろうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと目標に向かって計画的にトレーニングを続けたから。 ・大きな目標でも、少しずつ努力を積み重ねていったから。 ・目標に対してトレーニングなど、前向きに考えていたから。 </p> <p>3 自分たちが夢や希望をめざして生きていくうえで大切なことは何だろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・目標を立てたときの気持ちを忘れずに、努力を積み重ねていくこと。 ・たとえ大きな目標だったとしても、一步一步を重ねていくこと。 </p>		
	関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・心のノート 18, 19 「ステップアップのために」 ・特別活動 	
授 業 改 善 の た め に	<p>導入で、夢や目標を全員に聞く必要はない。 3の発問で“自分の目標に向かって”という視点を意識する。</p>		

4	月	第 2 週	【主題名】 郷土への思い
【資料名】 島うたのこころを伝えたい		【内容項目】 4—(9)	
【ねらい】 郷土の自然や文化に愛着を持ち、先人に対する尊敬や感謝の念を深めるとともに、自らもその発展に努めようとする心情を育てる。			
【主題構成の理由】 先人の努力によって築かれ守られてきた郷土の自然や文化を、感謝の念をもって受け継ぎ、さらにその発展に尽くそうとする心を育てたい。			
展 開 の 大 要	<p>1 自分の住んでいる地域や郷土を代表するものにどのようなものがあるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にわかまつり ・久田船長 ・あばれまつり ・いどりまつり ・自然 <p>2 「島うたのこころを伝えたい」を読んで話し合う。</p> <p>①親戚の人たちの前で「生きゅんにや加那節」を歌って、涙があふれ、声がつまってしまったのは、「わたし」のどんな気持ちからだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容とおばさんのことが重なったから。 ・おばさんはもういないと実感したから。 <p>②何度かやめようと思った島うたが、かけがえのない「財産」だと思えるようになったのは、「わたし」のどんな思いからだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島うたを歌い継いできた人々の歴史には、大変な苦労があったのだという思い。 ・先祖の生きざまや知恵を、大切にしたいという思い。 <p>③「わたし」が大切にしたい「島の心」とはどんな心のことだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島の人の温かい心 ・美しい自然 ・ふるさとを愛する心 <p>3 自分たちの郷土について考えよう</p> <p>④自分たちの郷土にはどんな心が息づいているか話し合ってみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親戚だけでなく、近所の人などまわりの人を思いやる心 ・祭りや伝統を守ろうとする心 <p>⑤郷土に関して自分がこれから伝えていきたいことはなんだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統や文化、自然など、昔の人々が大切に守ってきたことを自分たちも引き続き守っていかなければならない。 		
	関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・心のノート p.110,111 「ここが私のふるさと」 ・社会 ・総合的な学習の時間 	
授業 改善 のため	<p>設問の数が多い</p> <p>資料より、自分たちの地域を振り返る時間をもっと確保する。そのためには、①②は軽く押さえる程度にし、あらすじは指導者側で提示した方がよい。</p>		

4 月	第 3 週	【主題名】他の人々への思いやり
【資料名】(江戸しぐさ・新聞記事)		【内容項目】2 - (1)
【ねらい】 他の人々に対して思いやりの心を持って行動する意欲を高める。		
【主題構成の理由】 中学生として「おはよう」とあいさつすることの大切さは十分理解している。しかし実践となると、照れが原因で素直にできないことも多い。一方で思春期固有の非社会的な態度からあいさつをしない生徒もいるかもしれない。心動かされることの多い鶴川中生徒のあいさつに対して、生徒自身がしっかりとした意味づけをすることで、自身を持って行動できる生徒を育てたい。		
展 開 の 大 要	<p>①江戸しぐさについて知る 肩引き 傘傾げ・・・江戸しぐさをしないとどうなったでしょうか</p> <p>②, 江戸しぐさの思想を確認する。 うかつあやまりのせりふ記入</p> <p>③, マナー, ルール, エチケットについて考える ○それぞれ似ているところ, 違うところは? ・似ているところ 守らなければならないもの ・違うところ 罰則 ルール・・・規則 マナー・・・規則 エチケット・・・他人への思いやり (江戸しぐさは, ルール, マナー, エチケットのどれにあたるのだろう)</p> <p>④ルールでもない。マナーでもない。エチケットでもない。それでは, この若者の行いはいつたい何なのでしょう</p> <p>⑤教師の話し ルールやマナーやエチケットを超えた中学校3年生としての行動を期待したい。 『心のともなった行動』</p>	
関 連	修学旅行での行動	
授 業 改 善 の た め に	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒から出た「能登しぐさ」という言葉に絡んでも面白かったのでは? ・「そんなところがあるのかないのか」問うことで, 日ごろの生活に落とすことができる。 	

5 月	第 1 週	【主題名】 自己を見つめる
【資料名】 ぼくにもこんな「よいところ」がある		【内容項目】 1—(5)
【ねらい】 中学3年の時期は、自己理解が深まり、自分なりの在り方、生き方について感心が高まっていく。		
【主題構成の理由】 中学3年生の時期は、自己理解が深まり、自分なりの在り方、生き方について感心が高まってくる。しかし、理想や他人との比較により、その至らなさに一人思い悩むことも少なくない。自己の欠点や短所の追求のみに偏ることなく、自己の優れている面に着目させることを通して、自己受容、自己理解を深め、さらに伸ばしていくようにする。		
展 開 の 大 要	<p>1 自分のなおしたいところがあったら発表してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ち着きがない ・面倒くさがり ・おとなしすぎる <p>2 「ぼくにもこんな「よいところ」がある」を読んで話し合う。</p> <p>①「ぼく」はどんな気持ちから、自分のまじめさを受け入れることができなかったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まじめだということをつまらないことだと考えていたから。 ・まわりの友達からつまらないと思われているのではないかと思っているから。 ・まじめをかつこわるいととらえているから。 <p>②「ぼく」はどんな気持ちから、まだ使えるものを捨てたり、授業中私語をしている友達を責めなくなったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分と違うところが許せなくてイライラしたから。 ・同じような気持ちになったことがあるな <p>③「ぼく」はなぜ「これまでとは違って落ち着いた気持ちでいることができる」と感じたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が自信を持てなかったところを友達に認めてもらっていたことを知ったから。 ・他の人に対してイライラしていたところを大きな心で見ることができるようになったから。 	
	関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・心のノート p. 30, 31 「自分をまるごと好きになる」 ・学級活動 ・教育相談
授 業 改 善 の た め に	<p>1の発問で自分のなおしたいところを発表することはかなり勇気のいること。いきなりこう聞かれると答えにくいのではないか。</p> <p>欠点は「見方を変えて受け入れる」のか「自分のことをそのまま受け入れる」のか2つの視点が不明確だった。</p>	

5 月	第 2 週	【主題名】 男女の理解
【資料名】 恋愛症候群		【内容項目】 2－(4)
【ねらい】 『恋愛症候群』の歌詞を考えることにより、男女交際について考える		
【主題構成の理由】 中学3年は、異性に対する関心も強くなり、特定の異性に対する思いや交際したいという欲求も高まっていく時期である。ほとんどの生徒が幼なじみで構成される集団の中で、異性であるということ意識させない幼稚な行動を見せることもある。歌詞の分析を通して恋愛について考え、自分の行動を見直すきっかけにしていきたい。		
展 開 の 大 要	<p>①次に当てはまるのはどの血液型でしょう。 歌詞に出てくるそれぞれの血液型の特徴を掲示し、クイズ形式で答える。</p> <p>②次の〇〇に言葉を入れましょう。 〇〇症候群 ～その発病および傾向に関する一考察～ () に当てはまる言葉は何でしょう。 歌詞の穴埋めを通して恋愛の特徴を考えさせる</p> <p>③恋の「ふた通りの消え方」とはどんな消え方でしょう？</p> <p>④恋と愛の違いは何でしょうか。 相手の違いや年齢による違い、自分の行動など視点を与える</p> <p>⑤曲を聴く</p> <p>⑥教師の話、感想 ⇒曲の感想にならないよう注意 お互い認め合うには、時間をかけて相手を理解する必要があること 相手の話もよく効き相手の興味にも理解を示す努力が必要であること</p>	
関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・心のノート p.52, 「好きな異性がいるのは自然」 ・学級活動 ・教育相談 	
授 業 改 善 の た め に	<ul style="list-style-type: none"> ・片思いと両思いで逆のとらえ方をしている意見があった。それを言語化することでそれぞれの考えを表出させることが大切ではないか。 ・自分の考えをうまく言える生徒、いえない生徒が混在している。歌詞に線を引かせてひとこと意見を書かせてみるのもよいのでは。 	

5 月	第 3 週	【主題名】 自然を守る
【資料名】 よみがえれ 日本海！ (東京書籍)	【内容項目】 3 - (1)	
【ねらい】 人間は、自然の中で生き、生かされていることを理解し、自然に感謝し、自然を愛護していこうとする心情を育てる。		
【主題構成の理由】 先日の総合的な学習の時間で、地域の自然について講演を聞いた。自分たちのまわりにはかけがえない大切な自然があるということを生徒たちは自覚している。しかし、自ら進んで自然に対し、何かしらはたらきかけるという機会はほとんどない。普段から、身のまわりの自然も愛護していこうとする心情を育てるきっかけにしていきたい。		
展 開 の 大 要	<p>1 大自然に感動した経験を発表する。(心のノート p 62, 63) 能登の海についてどう思うか発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・透明度がある ・きれい ・生き物がたくさん住んでいる ・宝 <p>2 資料を読んで話し合う</p> <p>①重油で真っ黒になった海を見て、「海は死んでしまった・・・。」とつぶやいた吉春さんの心の中はどんなだったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう漁には出られないかもしれない。 ・だれがこんなことしたんだ。 ・どうしよう・・・ ・きれいな海はもう戻らないかもしれない。 ・なんとかしなくては <p>②過労で倒れてしまった吉春さんは、どんなことを思っていたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申し訳ない ・自分だけ寝ているわけにはいかない ・作業は進んでいるだろうか。 ・怪我した人はいないだろうか。 ・とにかく浜にかけつけたい。 <p>③吉春さんは、ボランティアの人々のどのような姿や気持ちに心を打たれたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あきらめることなく作業を進める姿。 ・ボランティアの人々の海をよみがえらせたいという気持ち。 ・玉石一つ一つ布でふく自然を大切にする気持ち。 <p>3 私たちが自然と向き合うときにどんなことが大切なのだろうか。</p>	
	関 連	<p>心のノート (p 62, 63)</p> <p>総合的な学習の時間 (地域と自然について)</p> <p>理科 (自然と人間)</p>
授 業 改 善 の た め に	<p>1 の発問では、資料の中心である能登の海が生徒にとって身近なものであることと、導入なので答えやすい発問の方がよいことから能登の海について聞いた方がよかった。</p> <p>あらすじの説明では生徒に聞くことなく、指導者側で簡単に説明でよい。時間を節約して中心発問に時間をかける。</p> <p>②の発問で、「生きた海ってどんな海」と切り返したのはよかった。</p> <p>③で板書をするときには、「姿」と「気持ち」を整理するべきだ。</p>	

6 月	第 1 週	【主題名】人間の強さと気高さ
【資料名】湖の伝説		【内容項目】3—(3)
<p>【ねらい】</p> <p>人間には、弱さと同時に強さや気高さのあることを信じて、人間としてよりよく生きようとする心情を養う。</p>		
<p>【主題構成の理由】</p> <p>人間には、良くないとわかっていながら、つつい楽なほうへ流れてしまう弱い心がある。その反面、弱さを克服しようとする強さと気高さをもつ。自分の弱さを自覚しながら、どのように生きていくことが人間として満足できるのか。人間としての誇りをもち、心豊かに生きるには何が必要かを考えていきたい。</p>		
展 開 の 大 要	<p>1 (絵本を見せ) 絵を見て感じたことを発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繊細な感じ ・くらい ・女性がかいたのかな。 <p>2 資料を読んで話し合う</p> <p>①画家である節子が、利きうでを失ったとき、どんな気持ちだったのだろう。</p> <p>画家が利きうでをなくすとはどんなことなんだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう二度と絵がかけない。 ・大変なショックを受けると思う ・死んだほうがまだ。 <p>②なぜ節子は、利きうでを失ったにもかかわらず、再び絵をかきはじめることができたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夫のはげましがあったから。 ・絵に対する情熱があったから <p>③静かに死を見つめるとはどういうことだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで世話になったみんなとゆっくりすごしたい。 ・大好きな家族と絵に囲まれ最後を迎えたい。 <p>④若くして死んだ節子が、最後に「ありがとう、幸せやった。」と言えたのはなぜだろうか。</p>	
	関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・心のノート (かみしめたい 人間として生きるすばらしさ p 70、71)
授 業 改 善 の た め に	<p>①では、いきなり気持ちを問いかけるのではなく、どれほど大変なのか想像させる発問の方が答えやすい。</p> <p>資料が長く、ストーリー性のある物は、時系列などであらかじめ用意した物を黒板に貼りだして時間を短縮するなど工夫が必要である。</p>	

6 月	第 2 週	【主題名】謙虚な心
【資料名】山寺のびわの実 (あかつき)	【内容項目】2 - (5)	
【ねらい】	多様な考え方を理解し、他に学ぶ謙虚な態度を育てる。 人には様々な考え方や見方があることを	
【主題構成の理由】	ともすると、「自分は自分」とした発想で、他の人との深い関わりを避けがちな生徒に、他の人の個性や立場を尊重する態度の育成を通し、自分を客観的にみ、自らの不完全さを知り、謙虚に他の人の態度に学ぶ広い心を育てていくことは、人間関係を一層親密なものにしていく基本と考える。	
展 開 の 大 要	<p>1 (心のノート p 5 4 いろいろな立場があり考えがある この絵は何に見えますか?) を見ながら この絵は何に見えますか。 ・アヒル ・ウサギ ・どっちにも見える ・どっちに注目するかでかわる</p> <p>2 資料を読んで話し合う</p> <p>①甚太はどのような気持ちで、和尚に対し「性分にあわねえ」と言っているのだろうか。 ・皆に人気があるのが気に入らない ・托鉢しているとじゃまだ。 ・お経をあげているだけじゃないか。</p> <p>②荷馬車で和尚を倒した甚太は、家に帰ってどんな気持ちだったのだろうか。 ・じゃまだったのだからしかたがない。 ・すこしやりすぎてしまったのだろうか。</p> <p>③さえと竹庵の話聞いた甚太は、どんなことを感じたのだろうか。 ・娘をそこまで心配してくれていたのか。 ・今日のけがの理由も自分が田んぼに落ちたことにしているなんて、おどろいた。 ・和尚とのことでそんなに娘に気を使わせていたなんて</p> <p>④どうして、甚太はこんなにかわったのだろうか。 ・和尚の優しく広い心に触れたから。 ・甚太の見方、考え方が変わったから。</p> <p>3 今日の授業で感じたことをまとめよう。</p>	
関 連	心のノート (p 55、54) 学級活動 (自己理解・他者理解)	
授 業 改 善 の た め に	甚太の心の変化を明確に板書すると、考えやすい。 気持ちを追いすぎて、国語的な読み取りになりやすい。 変わる前の甚太と変わった後の甚太を比べることでどんな気持ちの変化があったのか考えてもよかった。	

6 月	第 3 週	【主題名】望ましい集団生活
【資料名】お菓子を仕事に出来る幸福（東ハト）	【内容項目】 4－④	
【ねらい】 個性を発揮しながらチームワークを大切にすることの大切さを学ぶ		
【主題構成の理由】 17人という人数の中にも、それぞれの好みや話題によるグループが存在する。自分が所属しないグループのことは、積極的なかわりをもつことはない。本時は「仕事」の本質を考える中で、チームワークの大切さを考えさせ、自分が所属する集団としての学級を見つめなおすきっかけとしたい。		
展 開 の 大 要	<p>① 「仕事」とは何ですか。 「仕事」についての生徒の思いを確かめる。 新しい『東ハト』の説明 CEO木曾さんは、社員が楽しく懸命に仕事ができる体制を整えたいと考え、『社員たちが自分で考え判断する』体制づくりを手がけた。このやり方ではうまくいかない問題となる点があった</p> <p>② その「うまくいかなること」とは何でしょう。 自主性をまかされたときのデメリットを考えさせたい。 考えが出ない場合には、自分たちの生活にかえて考えさせる。</p> <p>③ みなさんがCEOだったら共有できる価値観をどのようにして社員に理解してもらいますか。</p> <p>④ 資料を読む。木曾さんと一緒に経営陣に入っているスポーツ選手がいます。誰でしょう。 (同CBO中田英寿元選手)</p> <p>⑤ もう一度聞きます。『仕事』とは何ですか。 ①での回答との違いを確かめさせたい。</p>	
	心のノートの範読 p104～105「集団、そして一人一人が輝くために」	
関 連	・心のノート キャリア教育	
授 業 改 善 の た め に	・心のノートの活用は内容項目に合致するページを使うのもよいが、より効果をあげるために別のページを使うことはできないか。 ・	

6 月	第 4 週	【主題名】望ましい生活習慣
【資料名】早朝ドリブル (東京書籍)		【内容項目】1 - (1)
【ねらい】 生活のリズムを整え、望ましい生活習慣を身につける。		
【主題構成の理由】 面談より、寝る時間が遅くなったり、いけないと思いながら、だらだらテレビを視聴している生徒の存在が見えてきた。無理な学習や怠惰な気持ちから、生活のリズムを崩しがちになるところがある。普段から望ましい生活習慣の重要性をわきまえ、それを習慣化していくことは、円滑な社会生活を営む上で大切なことである。		
展 開 の 大 要	<p>1 自分たちの生活を振り返って見よう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画通りできている。 ・テレビの時間が長い。 ・寝る時間が遅くなっている <p>2 資料を読んで考えよう</p> <p>①一樹が岡君と話していて、自分がどんどん低い方向へ流されるような不安を感じたのはどうしてだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分だけが遅れているようであせった。 ・自分だけがだらけた生活をしているのかもしれない・・・ <p>②一樹は自分に対して、「おい、しっかりしろ一樹。」その後、さらに自分自身を励ますならどういう言葉をいうだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このままだとダメな人間になってしまうぞ ・俺ならできる！がんばれ！ <p>③「あわてず、あせらず、生活のリズムをしっかりつくって、一日一日を着実につなぐ」とはどういうことだろうか。</p> <p>一樹は慎吾君の言葉に、心のなかでな何と答えたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとう ・あせらず、一歩ずつ着実につなぐ大切さがわかったよ。 <p>3 きまりのある生活をしていくために、自分自身が心がけなければならないことはどのようなことか。</p>	
	関 連	<p>心のノート (p16)</p> <p>学級活動 (心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成)</p>
授 業 改 善 の た め に	<p>②の発問で、教室の雰囲気が変わった。答えやすく、自分の価値観が反映させることができるよい発問だ。</p> <p>③の発問で、慎吾君への返事とその根底にある気持ちを考えることで、より答えやすく、ねらいに迫れるのではないか。</p> <p>学活のような授業ではなかったか。</p>	

7 月	第 1 週	【主題名】 自主自律の精神
【資料名】 捨て猫の運命		【内容項目】 1—(3)
【ねらい】 自分の行為が及ぼす結果について深く考え、責任ある行動をとろうとする態度を育てる。		
【主題構成の理由】 人間としての誇りをもって生きていくためには、自ら考え、判断し、実行の行為の結果に責任をもつことが求められる。したがって、深く考えずに不和雷同したり、責任を他人に転嫁したりするのではなく、自らを律することができなければならない。		
展 開 の 大 要	<p>1 (子猫の写真を見て) 下校途中でこんな猫が捨てられていたら、みんなはどうするか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 拾って帰る ・ 飼えないのでそのままにしておく ・ かくれて飼う ・ 人に見つかりそうなところに場所を移動させる <p>2 資料を読んで考える</p> <p>①私が、お母さんに子猫を「責任をもってそだてる」と約束したとき、どんな気持ちだったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で面倒を見るぞ。 ・ 捨てられたままだと、かわいそう。 ・ 私がなんとかしてあげないと。 <p>②子猫の面倒をみると言っていたのに、なぜ、次第に面倒をみなくなったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 面倒くさくなった。 ・ 世話が思ったより大変だった。 <p>③動物を飼う責任とは、何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人まかせにしない。 ・ 自分でしっかり世話をすること <p>④私は、ダンボールに入れられ、捨てられた子猫をどうするべきなのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ そのまま立ち去る ・ 連れて帰る <p>資料の続きをよむ</p> <p>⑤「動物を飼う前に考えなければならないこと」とはどんなことなのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最後まで責任を持つことができるか考えること。 ・ よく考えて行動すること <p>3 心のノート p 24 を見て、物事を深く考えない自分がいなか振り返る。</p>	
	関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心のノート (p 24)
授 業 改 善 の た め に	<p>③で動物を飼う責任について、もっと時間をかけて押さえるべき。</p> <p>3年生は、聞く力も話す力もあるのだから、生徒の言葉が足りないところを指導者が潰けてしまってはよくない。時間がかかっても生徒同士の話し合いから深めていくべき。</p>	

3年 7月	第2週	【主題名】 生命の尊重
【資料名】 ぼくのおばあちゃん なかむらみつる (ぴあ株式会社)		【内容項目】 3-②
【ねらい】 大切な人の死を通して、人の命の大切さを考えさせる。		
【主題構成の理由】 昨今、安易な理由でおこる殺人事件があとを絶たない。生命の尊さを自覚し、かけがえのない生命を尊重する心情を養っていくことが急務である。「命は大切である」ということに反論をする生徒はいない。しかし命そのものは限りあるものであり、大切な人もいつかは別れなければならない。資料のぼくとおばあちゃんとのやり取りを通して、人の「死」についてじっくりと考え、生命の重さを感じ取らせたい。		
展開の概要	<p>○スーパーヒーローといえば、どんなことを思いうかべますか。(7分)</p> <p>ぼくのスーパーヒーロー、おばあちゃんのエピソードをクイズ形式で紹介する。 おねしょをしたとき・・・こっそりと洗濯してくれた。 幼稚園へひとりで行けといわれて・・・こっそりついてきてくれた、</p> <p>幼稚園のころ、ぼくを守ろうとして、おばあちゃんは手に怪我をしました。(7分)</p> <p>○この事件で、おばあちゃんの手には、10針以上も縫う傷が残りました。この傷を見て僕が「ごめんなさい」と言うと、おばあちゃんはなんと言ったでしょうか。 おばあちゃんの僕に対する深い愛情を感じさせたい。(答：生命線が長くなった) 「まぎれもなくおばあちゃんは、僕にとってスーパーヒーローだった。」</p> <p>中学校のころ、おばあちゃんはガンであることがわかり、寝たきりになった。(7分)</p> <p>○寝たきりになったおばあちゃんのために、僕が考えた計画とはなんでしょう。 ぼくのおばあちゃんに対する深い愛情を感じさせたい。(天井に写真を何枚も貼った)</p> <p>おばあちゃんが亡くなる日の本文要約文を配布 (5分) おばあちゃんは還らぬ人となった。 おばあちゃんの姿が映ったビデオテープを見たときの本文要約文 (5分)</p> <p>◎「ともちゃん、どんなに悪いことをしても怒ったりしないから、()。」「 おばあちゃんは何と言ったと思いますか？ (10分) おばあちゃんの深い愛情を感じさせたい。(死ぬ順番だけは間違えないでね)</p> <p>○授業の感想を書く。(5分)</p>	
関連	「ぼくのおばあちゃん」→「命の授業」(10月予定)	
授業改善のために		

9 月	第 1 週	【主題名】 勤労の尊さ
【資料名】 てんびんばかり		【内容項目】 4—（5）
【ねらい】 勤労の意義や尊さを理解し、働くことについての正しい考え方を育て、自ら実践しようとする態度を育成する。		
【主題構成の理由】 働くということに対する価値意識が多様になり、大きく変化してきた今、生徒の中には将来の夢を語るとき「お金を儲ける」という動機を当たり前と言うものも存在する。勤労が尊いものといえる精神をもう一度見直す必要がある。		
展開の概要	<p>1 「働くこと」の喜びとは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活したり、家族を支えるためにお金を稼ぐ。 ・社会に役に立っていることを実感するため。 <p>2 資料を読んで考える</p> <p>①台風の晩、筆者の父を仕事に向かわせたのはいったい何だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が線路を守らなければならないという気持ち。 ・仕事への責任感 <p>②父がいつになく「真剣な表情」をしていたのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族と仕事を比べるものではないことを、家族にわかってもらいたかったから。 ・家族と仕事を比べて仕事をしているわけではないことを伝えたかったから。 <p>③筆者が、「まだまだわたしは幼いな」と思ったのは何に気づいたからだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働くということの意味に気付いたから。 ・働いたことがなく、その意味もわからない自分に気付いたから。 ・父に言われて初めて働くことの意味を知ったから。 <p>3 「働くこと」がもつ意義はどんなものなのだろう</p>	
関連	<ul style="list-style-type: none"> ・心のノート p.98～101 「考えよう働くということ」 ・わく・ワーク（Work）体験 ・社会科 公民 	
授業改善のために		

9 月	第 2 週	【主題名】日本人の心
【資料名】日本の盆		【内容項目】4 - (9)
<p>【ねらい】</p> <p>日本の伝統や文化について理解を深め、日本人として優れた伝統を継承していこうとする意欲を高める。</p>		
<p>【主題構成の理由】</p> <p>日本の年中行事や祭り、先人の知恵は、日本の文化をつくり、日本人の心をはぐくんできている。改めて日本の伝統や文化のもつ独特な意味を理解し、自己の生き方に生かそうとする心情を養うことは大切なことである。</p>		
展 開 の 大 要	<p>1 今年のお盆はどうすごしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 墓参りにいった ・ 親戚が来た ・ 親戚の家へいった <p>2 資料を読んで考える</p> <p>①日本の盆が「やさしい気持ちがこれほどにじみ出ている行事はほかにあまりない。」と述べているのはどうしてだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 亡くなった人を迎えるために、たくさんの準備をする <p>②日本の盆が「いますごとき祭り」であるとはどういうことだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ そこにいるように一緒にすごすようにすること ・ 亡くなった人を懐かしみ、みんながあつまること <p>③作者は、日本人にとって「盆」がどのような意味があると考えているだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大切な家族をわすれない ・ 命をつないでくれた先祖に感謝をする <p>3 これからも大切にしていきたい「日本の心」として、どのようなものがあるだろうか。</p>	
	関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心のノート p.116,117 「あなたは日本の伝統や文化のたよりになる後継者である」 p.77 連続性 ずっとつながっていること ・ 国語 ・ 社会
授 業 改 善 の た め に		

9 月	第 3 週	【主題名】感謝の心
【資料名】出会いの輝き（光村図書出版）		【内容項目】2－（6）
<p>【ねらい】</p> <p>多くの人々の善意によって日々の生活や現在の自分があることに感謝する態度を育てる。</p>		
<p>【主題構成の理由】</p> <p>感謝の心は、他の人が自分のことを大切に思ってくれていることに触れ、相手の好意をいわば贈り物としてありがたいと感じたときに起こる人間の自然な感情である。多くの人々の善意や支えによって日々の生活が成り立ち、現在の自分があることを踏まえ、それに対する感動や喜びが自ずと感謝の心となって表れ出るものであることについての理解を深めることが必要である。</p>		
展 開 の 大 要	<p>1 みんなは贈り物をもらったりおくれたりしたことがあるだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親から誕生日プレゼントをもらった。ほしかったものなのでうれしかった。 ・友だちから手作りのマスコットをもらった。丁寧に作ってあってうれしかった。 ・母の日にプレゼントをした。喜んでくれるといいなとおもって選んだ。 <p>2 資料前半を読んで考える。</p> <p>①人間が人間に贈ることのできる最善の贈り物は何だと思えますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛情 ・友情 ・信頼 ・宝物 <p>資料後半を読む</p> <p>②筆者がマルセルからの言葉を、「今なお忘れることができない」のはどうしてだと思えますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おそらくマルセルからの最後の言葉だから。 ・筆者にとって、いい思い出になったから。 <p>③「お互い他人にいい思い出をあげられる人間」とはどんな人間だと思えますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを思いやって、楽しい思い出をつくることのできる人間。 ・受け取るほうも、自分のためにしてくれたということを忘れずにありがたいと思うことのできる人間。 <p>3 私たちが、これから心の宝物を贈ったり贈られたりするには、どんなことが大切だと思えますか。</p>	
関 連	<p>学級活動</p> <p>体育祭、文化祭</p>	
授 業 改 善 の た め		

9 月	第 4 週	【主題名】思いやりのこころ
【資料名】月明かりで見送った夜汽車		【内容項目】2 - (2)
【ねらい】 思いやりの根底にある人間への深い理解と共感を認識し、人間愛に満ちた心情を育てる。		
【主題構成の理由】 思いやりとは、相手にとってどのようなことが望ましいのかふまえて行動することである。その意味では、社会に生きる人間にとってもっとも大切な真情である。思いやりが人とのかかわりの中で欠かすことのできない心であることに気づき、その美しさをたたえる気持ちが大切である。		
展 開 の 大 要	<p>1 今日は、ちょっといい話をもとにいろいろ考えてみよう。</p> <p>2 資料を読んで考える</p> <p>①この話で印象に残るのはどの場面だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ I 先生のためにブレーカーを落とすところ。 ・ 暗がりの中で、オーという歓声と拍手が起こるところ。 <p>②みんなは、何に対して「オー」という声をあげ、「拍手」したのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Y 先生の I 先生への思いやりの気持ちに感動したから。 ・ みんな Y 先生と同じ思いだったから。 ・ みんなが I 先生への重いが同じだったことがうれしかったから。 <p>3 筆者が「胸にジーンとききました」というこの光景に、あなたは何をかんじますか。</p>	
関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心のノート p, 82, 83 「一人ひとりが輝く そんな集団づくり」 ・ 学級活動「文化祭に向けて」 	
授 業 改 善 の た め に		

10 月	第 1 週	【主題名】 試練が育てる友情
【資料名】 ライバル		【内容項目】 2 - (3)
【ねらい】 真の友情の尊さを理解し、信頼と敬愛の念に支えられた友人関係を築こうとする態度を育てる。		
【主題構成の理由】 人間は他人との関係の中で自己を見つめ、成長させる。特に友人関係は尊くかけがえのないものである。生徒により良い友人関係のあり方について考えさせ、積極的に他人とかかわっていかうとする意欲を育てたい。		
展 開 の 大 要	<p>1 あなたにとって友だちとはどういう存在ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一緒にいて楽しい ・頼りになる ・励ましあう ・相談にのってくれる <p>2 資料を読んで考える</p> <p>①啓介から見た康夫、康夫から見た啓介はどんな友だちなのだろう。</p> <p>②入院して水泳ができなくなった康夫は、啓介に対してどんな気持ちをもったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このままでは啓介に抜かれてしまう。 ・病気のせいで負けるのが悔しい。 ・泳げる啓介がうらやましい。 ・自分が病気になったことを啓介は喜んでいるのではないか。 <p>③啓介は康夫の見舞いに行こうと思いつつも足が向かなかつたのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心のどこかに康夫の病気にほっとしている自分がいたから。 ・康夫に何と言って励ましていいのかわからなかったから。 ・康夫に自分の心を見透かされるのではないかと思ったから。 <p>④どんな思いが啓介を見舞いに行かせたのだろう。また、どんな思いが康夫に手紙を書かせたのだろう。</p> <p>(啓介) ・ほっとしてしまつた自分を恥じる気持ち。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほっとしてしまつたことに謝りたい気持ち ・康夫との友情を大切にしたい。 <p>(康夫) ・啓介の真心を受けとめられない自分が恥ずかしく、啓介に謝りたい気持ち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓介との友情を大切にしたい。 <p>3 これからの二人の友情にとって大切なことは何だろう。</p>	
	関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・心のノート p. 48, 49 「互いを高める友情はどこにある？」 ・社会 ・学校行事 ・学級活動
授 業 改 善 の た め に		

10 月	第 2 週	【主題名】 公德のモラル
【資料名】 缶コーヒー		【内容項目】 4 - (2)
<p>【ねらい】</p> <p>公德のモラルを大切にし、人間として互いの連帯を自覚し、より望ましい社会を実現しようとする態度を育てる。</p>		
<p>【主題構成の理由】</p> <p>公德のモラルを高めるには、一人ひとりが社会全体に目を向け、お互いが安心して生活できる社会をつくっていかうとする社会連帯の精神を持つことが必要不可欠である。</p>		
展 開 の 大 要	<p>1 自分勝手な振る舞いとは、どんなことだろうか。自分勝手な振る舞いに接して、いやな思いをすることにどんなことがあるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まわりのことを考えずに振る舞うこと。 ・列の順番を無視して割り込む ・ゴミのポイ捨て <p>2 資料を読む</p> <p>①「缶コーヒー」を読んで、三人一組でモラルスキルトレーニングを行う。</p> <p>②3つの役を演じ終えたら、それぞれの役を演じた時の気持ちを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年下だし、いうべきことを言いたいけど、言えない。 <p>③コーヒー缶が落ちそうになっている時に、「OLの女性」と「わたし」はそれぞれどうすれば良かっただろうか。また、それを見て、「となりのおばさん」はどう思うだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OLの女性・・・不安定なところにコーヒー缶を置かない。自分の行動を反省する ・わたし・・・迷惑なことは、はっきり言う。ただし、相手の気分を害さないように。 ・おばさんの気持ち・・・言うべきことは言っているし、反省もしているのでよい。 <p>3 ロールプレイを終えて、感じたこと、気づいたことを話し合おう。</p>	
関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・心のノート p. 90, 91 「自分だけがよければいい・・・」 ・学級活動 	
授 業 改 善 の た め に		

10	月	(第3週)	【主題名】 生きる喜び
【資料名】 ひまわり		【内容項目】 3 - (3)	
【ねらい】 内なる弱さや醜さと戦い、自己を奮い立たせることで、生きる希望や喜びを見出そうとする。			
【主題構成の理由】 弱さと強さの両方をもつ人間の心は、弱さに打ち勝つことで、人間として「生きる喜び」に気づくことができる。自分の弱さを自覚し、それを乗り越える強さが、自分を含めた人間の中にあることを知り、だれに対しても、その人間としてのよさを見出そうとする態度を育てていきたい。			
展 開 の 大 要	<p>1 資料（麻衣手書きの作文前半）を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どうして、こんなに字が乱れているのか。 ・ 「力のない様な者でも、必ず誰かを助ける」とはどういうことなんだろう。 <p>2 「ひまわり」を読んで話し合う。</p> <p>①障害をもつことになった筆者は、どんな気持ちだったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なぜ、わたしだけこんな目にあうのか。くやしい。 ・ 私が何をしたというのか。 ・ こんなことになるのだったら、死んだほうがまだ。 ・ もう、なにもかもいやだ。 ・ 自分だったら耐えられない…。 <p>②死のうとまで考えていた麻衣が、前向きに生きようとしたのはなぜだと思うか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ このままじゃいけないことに気付いたから。 ・ 自分が甘えていたことに気付いたから。 ・ ずっと支えてきてくれた母に答えたいから。 ・ つらいのは自分だけではないことがわかったから。 ・ 自分より小さい子が、リハビリを頑張っていたから。 <p>3 もし、君たちがこれからの人生で挫折する時があったら、どんな心構えで生きていくことが大切だろうか。</p>		
	関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心のノート（p 66） ・ 学級活動（進路選択に備えて） ・ 部活動 ・ 体育祭 ・ 文化祭 	
授 業 改 善 の た め に			

10	月	第 3 週	【主題名】 生きる喜び
【資料名】 天井が明るい		【内容項目】 3 - (1)	
【ねらい】 一人一人の生命がかけがえのないものであることを自覚し、積極的に自他の生命を尊重する心情を育てる。			
【主題構成の理由】 自分たちの命は、この世に生を受けたたった一つしかなく、人生はふたたび繰り返すことのできない1回限りのものであることを自覚し、さらに自己の生命が、親類や周囲の人々の温かい心づかいによって支えられていることに気づかせたい。			
展 開 の 大 要	<p>1 病気や入院の経験について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>2 資料を読んで考える</p> <p>① 作者は、心臓の手術をすることになったとき、どのようなことを考えただろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 怖い ・ 生きていられるか不安だ ・ 不安に押しつぶされそうになって何も考えないようにした。 <p>② 作者の生命を救うためにどれほど多くの人々の努力や願いがあったか。また、それはなぜか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 父母 手術の日程を変えてもらう。 ・ 祖父母 タオルと30粒の米。祖父は5回も神社にお参りし、祖母は郵便局に走った。 ・ 友達 千羽鶴 神社の落ち葉千枚 ・ 医師や看護師 最善を尽くす ・ 筆者に対し限りない愛情をもっていたから。 ・ かけがえのない筆者の命が大切であり、尊いものだから。 <p>③ 手術後の作者の気持ちはどのようなものだったろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の先生たちや、進歩した医療のおかげだ。 ・ たくさんの人の願いや祈りが通じたことに感謝。 ・ 生きていることが本当にうれしい。すべてのことに感謝したい。 <p>3 かけがえのない生命の大切さを感じたことについて話し合う。</p>		
	関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心のノート p. 66, 67 「かけがえのない生命」 ・ 保健体育 ・ 学級活動 	
授 業 改 善 の た め に			

10	月	第 4 週	【主題名】個性の尊重
【資料名】まるごと好きです		【内容項目】2 - (5)	
【ねらい】 人それぞれの個性や立場の違いがあることを理解し、これを尊重して謙虚に学ぶ態度を育てる。			
【主題構成の理由】 相手のよさを見いだし、認め合いながら、互いの立場を尊重する態度を身につけることはこの時期の生徒に不可欠な指導である。			
展 開 の 大 要	<p>1 隣の友達の良い点、見習いたいと思うところを発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るい ・やさしい ・がんばりや ・スポーツが得意 ・勉強ができる <p>2 資料を読んで考える</p> <p>① 作者は、多くの友達の長所や短所をどのように見ているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まきちゃん やさしい 陰気 ・京子さん センスがいい すましている ・沢本さん 優雅 なよなよしている ・石田さん 一つのものに打ち込む ぶっきらぼう ・ゆみちゃん 歌がうまい だらしない ・さきちゃん バasketが上手 がさつ <p>② 「きれい」もふくめて「まるごと好きになる」という作者の考え方についてどう思うか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠点も個性として考えることができるのですごい。 ・なかなかできないけど、こんな風にできたらいいな。 ・心が広い ・友だちが多そう <p>3 ものの見方や考え方の違う相手をどのようにして受け止め、接していこうとおもうか発表しよう。</p>		
	関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・心のノート p. 56, 57 「他の人の考えを理解していない自分に気づいた経験はありますか？」 ・部活動 	
授 業 改 善 の た め に			

11	月	第 1 週	【主題名】法の理解と遵守
【資料名】 召集通知ーあなたが裁判員になるときー		【内容項目】 4－（1）	
【ねらい】 法の意義を正しく理解し、自ら権利を行使し義務を果たすことで社会の秩序と規律を高めようとする態度を育成する。			
【主題構成の理由】 法やきまりというものは、いったい何のためにあって、それを私たちが遵守する意味は何なのか。われわれは、このことを深く考えることが少ないし、また、そのような機会も乏しい。権利を尊重することと同じように、義務を確実に果たしていくことの意味を考える必要がある。			
展 開 の 大 要	<p>1 裁判にたいして、どんなイメージを持っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 難しい ・ あまり身近に感じない ・ 普段の生活とあまり関係ない <p>2 資料を読んで考える</p> <p>①裁判員制度について、どんな印象を持っただろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 裁判員に決まると、必ず出ないといけないなんて、大変そう。 ・ 法律の知識がないのに裁くなんてできるのだろうか。 ・ でも、やってみたい。 <p>②「良識？権利？義務？社会のため？自分のため？」と黙り込んでしまった恵美は、どんなことを考えていたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 裁判員は大変だろうけど、義務なのでやらないといけない。 ・ いやな気持ちもあるけど、やらないといけない。けど、迷う。 ・ 義務感は何となく感じていたが、権利だとか自分のためだとかは考えていなかった。 <p>③私たちは、法をどのようなものとして捉えていけばよいのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなに義務を果たしてもらうためのもの。 ・ みんなが暮らしやすい世の中にするために必要なもの。 ・ 義務であると同時に、社会をよりよくしていくために、一人ひとりに与えられた権利であること。 <p>3 最終的に、恵美は「召集通知、なんて決めた」のだろう。</p>		
	関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心のノート（p 86, 87） ・ 社会科（法ときまり） ・ 特別活動（生徒会活動） 	
授 業 改 善 の た め に			

11	月	第 2 週	【主題名】責任ある行動
【資料名】廃品回収で学んだこと		【内容項目】1 - (3)	
【ねらい】 常に自主的に考え、誠実に行動して、その結果に責任を持つようとする態度を育てる。			
【主題構成の理由】 自ら考え、決断するということは、その結果について責任をもつことと表裏一体の関係であることを自覚させたい。			
展 開 の 大 要	<p>1 責任感をもってやり遂げた経験を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 途中で辞めようと思った部活動を最後の大会までがんばった。 体育祭で、1, 2年生をまとめられず逃げたいと思ったが最後までやり遂げた。 <p>2 資料を読んで考える</p> <p>① 作者は、それぞれの場面で反省しているが、どんな気持ちだったろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> もっと前もって計画を立てておくべきだった。 お茶工場の人々に迷惑をかけた。 両親にも悪いことをした。 <p>② 反省しながらも、「なんでおれ一人が・・・」という作者の気持ちを話し合ってみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分勝手だ 最初に「なんでおれ一人が・・・」と感じた気持ちはわかる。しかし、責任感をかき お茶工場の人に迷惑をかけておいて、反省がない。 <p>③ 作者は廃品回収から何を学んだのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 責任者となったからには、しっかり責任を果たすということ。 「先を見通す」大切さ リーダーに必要な責任感が足りなかった自分。 <p>3 自分の仕事をやり遂げようとするとき、どんなことが大切なのだろうか。</p>		
	関 連	<ul style="list-style-type: none"> 心のノート p. 24, 25 「中学生だもの。自分がすることは結果まで深く考える」 生徒会活動 学級活動 	
授 業 改 善 の た め に			

11	月	第 3 週	【主題名】規則の意義
【資料名】元さんと二通の手紙		【内容項目】4 - (2)	
【ねらい】 きまりを遵守し、確実に義務を果たすことで、よりよい社会をつくろうとする実践意欲を培う。			
【主題構成の理由】 生徒にとっては行動や生活の規則であると意識されがちな社会のルールであるが、集団や社会の一員としての自覚を持ち遵守することによって望ましい社会生活が営まれていることを理解させたい。また、社会のシステムが機能していくためには個人の権利が保障され、義務が遂行されなければならない。その基盤となるのが社会のルールであることに気づかせ、実践しようとする態度を育てたい。			
展 開 の 大 要	<p>1 「世の中に法やきまりがなかったら」どうなるだろうか、自分の考えを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分勝手なことをする人が増える。 ・世の中が混乱する <p>2 資料を読んで考える</p> <p>①佐々木さんが元さんの処分に納得できなかったのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姉弟の気持ちを考えると、元さんの判断は正しいと思ったから。 ・姉弟は無事だったのに・・・ ・子どもたちは喜び、母親は感謝しているのに、会社の処分は重すぎる。 <p>②元さんの行動に共感していた佐々木さんが、それでも若い女の子たちの入園を断ったのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規則は規則だから。 ・どんな理由があるにせよ、規則は守るべきだということを元さんから学んだから。 ・個人の感情で規則を破ると、全体に迷惑がかかることを知ったから。 <p>③きまりや規則はなぜあるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなトラブルを未然に防ぐため。 ・みんなが生活しやすいように。 ・一人ひとりの権利を守るため。 <p>3 この時間を感じたこと、かんがえたことをまとめよう。</p>		
	関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・心のノート p. 86～88 「ルールとはなんのためにあるのだろうか？」 ・学校行事 ・学級活動 	
授 業 改 善 の た め に			

11	月	第 4 週	【主題名】生きる力
【資料名】あなたはすごい力で生まれてきた		【内容項目】3 - (1)	
【ねらい】 生きる力の尊さを自覚し、かけがえのない自他の生命を尊重しようとする心情を養う。			
【主題構成の理由】 かけがえのない自分の命を大切にし、精いっぱい生き抜いていこうとする自覚を持たなければ、自分はもちろんのこと他の人々の生命も尊重していこうとする姿勢を望むことは難しいであろう。そこで、自分にも生まれるときから自分を全うしようとする力が備わっていることを自覚することは意義のあることといえる。			
展 開 の 大 要	1 自分が生まれてきたときのことを紹介しよう。		
	2 資料を読んで考える ①「私たちは時折自信をなくしたり～いやになってしまうときがあるだろう」とあるが、みんなはこんなときどうするだろうか。 ・友だちに相談する。 ・気晴らしをする ②他の人々とつながってとあるが、自分たちはだれとつながっているだろうか。そのつながりはどんなつながりだろうか。 ・親 兄弟 祖父母 親戚 血のつながり ・友だち 信頼関係 励まし合う関係 ・地域の人々 支え合う ③「母親と赤んぼうの共同作業」の結果生まれてきた命とはどのようなものだと思うか。 ・自分一人だけの命ではない ・かけがえのない大切なもの ・自分も含め、粗末に扱うことは許されない。		
関 連	3 生命の不思議さについて考えてみよう。 ・心のノート p.68 「私がこの地球上にデビューした日」 ・学級活動 ・保健体育 ・理科		
授 業 改 善 の た め に			

12	月	第 1 週	【主題名】差別を許さないところ
【資料名】卒業文集最後の二行		【内容項目】4－(3)	
【ねらい】 正義を重んじ、だれに対しても公正、公平にし、差別や偏見のない社会の実現に努める。			
【主題構成の理由】 人間形成の途上にある生徒に対して、人間尊重の精神を身につけさせるとともに、性・能力、経済状況などにおいて、だれに対しても公正公平に接し、差別や偏見を持たないように指導する必要がある。正義を重んじ他者に対して公正公平であり、差別をしない生活態度を育てることが必要なのである。			
展 開 の 大 要	<p>①資料の中でいちばん強く感じたところはどこか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめはひどい ・ T子さんがかわいそう <p>②卒業文集最後の二行には、T子さんのどのような思いが込められているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 真実を訴える気持ち ・ みんなに対する恨み ・ みんなにわかってほしい ・ もういじめはしないでほしい <p>③三十年余り過ぎた今でも、作者がT子さんのことを思い出してなみだをこぼすのはどうしてだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ T子さんのつらさや悲しさが伝わってきたから。 ・ T子さんに申し訳ない気持ちだったから。 ・ T子さんを苦しめていた一人だったから。 ・ T子さんに謝りたい気持ちになったから。 <p>④「あの2行を読まなかったら、現在の私はどんな生活をしているのだろうか」という筆者は、今、どんな生き方をしているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人の痛みがわかり、思いやることができる生き方 ・ 誰にでも平等に接する生き方 ・ 差別をしない生き方 ・ 自分に恥じない生き方 		
	関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心のノート p.97「義を見てせざりは勇なきなり」 ・ 学級活動 ・ 生徒指導 ・ 社会 	
授 業 改 善 の た め に	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心のノートの活用・・・自分のクラスにも同じようなことはないか考えながら学んだことや感じたことをまとめさせる。 ・ どんな気持ちで鶴川中学校を卒業したいか書かせてもおもしろいのでは？ 		

1 2 月	第 2 週	【主題名】 家族の思い
【資料名】 父からの手紙		【内容項目】 4－（6）
【ねらい】 父母、祖父母に畏敬の念を深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築こうとする意欲を育てる。		
【主題構成の理由】 家庭は、家族の温かい愛情によって営まれる最も基本的な共同生活の場である。深い信頼関係に満ちた家族の愛情のもつ意義を理解し、相互に愛し、支え合って日々の生活を重ねていくことの喜びを感じとらせることにより、家族の心のきずなを強めていくことの大切さを味わわせていきたい。		
展 開 の 大 要	<p>①外泊の時に父が、父親であることを実感することができてうれしかったと述べているが、どうしてだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・父がいてくれることに素直に子どもが喜んでくれた。 ・父の病気のことを自分の苦しみのように受け取ってくれた。 <p>②子どもたちの寝顔をのぞいている父の心には、どのような思いがあっただろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が死んだあとも、健やかに育ってくれるだろうか ・子どもを残して死んでしまうことがくやしい <p>③「愛されていることを感じ合えたときに、すべての恐怖は消え去っていくのだ」とは、どのようなことだと思うか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・死んだあとも家族の中でいき続けられるということ ・死んだあともお互いを支えて生きていこうと思うことができたということ <p>④（野口英世の母からの手紙を読み）明るく、たがいに支えあう家庭を築いていくためにはどのような気持ちが必要だろうか。</p>	
関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・心のノート p. 104, 105 「大切な家族の一員だから」 ・社会 ・家庭科 	
授 業 改 善 の た め に	<p>「愛していること、愛されていることを感じあえたときに、すべての恐怖は消え去っていく」という言葉に注目して、師の恐怖さえも消し去る家族の愛情の深さについて考えさせたい。</p>	

1 2 月	第 3 週	【主題名】心の触れ合い
【資料名】ある元旦のこと		【内容項目】2 - (2)
<p>【ねらい】</p> <p>人は互いに助け合って生きていることを自覚し、感謝と思いやりの心で他と接しようとする心情を養う。</p>		
<p>【主題構成の理由】</p> <p>身近な人とのかかわりの中で、思いやったり感謝したりすることが大切だということは容易に理解できる。しかし見も知らぬ人となると、案外冷たいものではないだろうか。だが席を譲る話など心温まることはよくあることである。お互い支えあって生きていることを思い出し、誰にでも温かい心で接することの大切さを考えさせたい。</p>		
展 開 の 大 要	<p>①筆者の父親は、どんな思いから挨拶板を吊るそうと思ったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元旦から仕事をする人たちに ・顔を合わす機会のない人に、感謝の気持ちを伝えたかったから。 <p>②挨拶板を見た少年はどうして頭を下げたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うれしい、ありがとうという気持ちが態度に出た。 ・筆者の心が少年にしっかりと伝わったから。 <p>③少年が頭を下げるのを見て、筆者はどんなことを感じ、考えたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・礼儀正しい少年だ ・自分の気持ちが、少年にちゃんと伝わってうれしい。 ・すがすがしい。 <p>④この話から、あなたはどんな印象を受けましたか。どんなことを考えましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いやる心は温かい ・こんなつき合い方ができればいいな。 	
関 連	<p>・心のノート p. 44, 45 「親切が親切を生む」を範読した後、上段の Free Space に考えたことをまとめさせる。</p>	
授 業 改 善 の た め に	<p>・実際に半紙に書いたものを用意した。感謝の心を伝える気持ちをもう少し深く考えさせたかった。切り返しの発問を用意しておく。</p> <p>・終末は教師の話で終わった。</p>	

1	月	第 1 週	【主題名】思いやりの心
【資料名】流れ星		【内容項目】2 - (2)	
【ねらい】 温かい人間愛の精神を深め、誰に対しても思いやりの心を持って接する態度を育てる。			
【主題構成の理由】 中学生は、人間の持つ精神的な強さや気高さを感じるとともに、弱さや醜さにも気がついてくる年代である。だれしもその人なりの素晴らしいものをもっていることを確認し、そのよさをだれに対しても積極的に見つけていこうと努力する態度がひつようである。			
展 開 の 大 要	<p>①資料についての説明を聞く。 (作者の略歴、施設の設立の目的、現状について簡単に触れる。)</p> <p>②まもるの母の死に対して、作者や周りの子どもたちが示した態度はどのような気持ちからだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者・・・少しでもショックが和らぐようにたとえ話で伝えた。 ・たけひと・・・寝る場所を何気なく変わってあげた。 ・つとむ・・・作者やたけひとの立場になって思いやりのある文を書いた。 ・たかひろ・・・思いやりあふれる詩を書いた。 <p>③作者は学園の子どもたちを目の前に、あらためて責任の重さを感じたといっているが、なぜどう感じたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの前ではうそをつけないと思ったから。 ・これからもできる限り暖かい心を持って子どもたちに接していこうと思ったから。 <p>④今まで生きてきた中で、暖かい思いやりを感じたのはどのようなときか、発表しあう。 心のノート 45 ページを活用する</p>		
	関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・心のノート p.37 「思いやる心を」、p.45 「思いやり」ってなんだろう？ ・学校行事 ・学級活動 ・社会 	
授 業 改 善 の た め に	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの思いをうまくとらえさせたい。 ・文章の最後に学園モットーを紹介。「やさしくね、やさしくね、やさしいことはつらいのよ」 		

1 月	第 2 週	【主題名】愛校心
【資料名】心がひとつに		【内容項目】4－(7)
<p>【ねらい】</p> <p>鶉川中学校に所属する一員としての自覚を深め、皆と協力しよりよい校風を築こうとする心情を育てる。</p>		
<p>【主題構成の理由】</p> <p>集団が集団として高まっていくには、そこに所属する一人ひとりが集団の意義を理解し、自分自身の役割と責任を自覚し、集団生活が向上するようにつとめなければならない。また、集団は、成員同士がお互いの人格を理解し合い、声掛け合い励まし合ってこそ理想の集団となりうる。お互いが目標に向かって切磋琢磨しながらもよりよき集団へと高まっていくように考えさせたい。</p>		
展 開 の 大 要	<p>①「木村千香子」の名前が呼ばれるとき、全員で返事をしようとしたのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・亡くなった友だちへの哀悼の気持ち ・みんなで一緒に卒業したかったから <p>②「みんな考えていることは同じだった」とあるが、どんなことを考えていたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木村さんにこの声が届くように。見ているかい？ ・一緒に卒業しよう。 ・君も仲間だよ。 <p>③みんなが最後の礼のとき「ありがとうございました」と心を込めて言ったのはどんな思いからだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無事卒業できたことに感謝する気持ちがあるから。 ・まだ苦しい生活の中にいる人たちに元気に卒業する姿を見てもらい勇気や希望を与えたかった。 <p>④「心がひとつに」なれるまともりはどこから生まれたのだろうか。</p>	
関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・心のノート p. 108, 109 「この学校をもっとすてきにしたい」 ・学級活動 ・係活動 ・音楽 	
授 業 改 善 の た め に	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業をひかえた生徒たちに、資料の中の中学生の姿を通して、自分自身と学校とのかかわりをじっくり考えさせたい。 ・残り少ない中学校生活をいかに過ごそうとするかまで発展させたい。 	

1 月	第 3 週	【主題名】人間の弱さ醜さの克服
【資料名】足袋の季節		【内容項目】3 - (3)
【ねらい】 ありのままの人間がもつ心の弱さを克服し、自分に恥じない生き方を目指そうとする態度を育成する。		
【主題構成の理由】 中学生の時期は誘惑に負けたり易きに流れたりする傾向が見られる。その中で自信をなくしたり、劣等感を感じたりする。その一方で、よりよく生きたいという思いが高まる時期でもある。人は誰しも人間らしい弱さを持っていることを認め、決して絶望することなく生きることに喜びを見いだすようにしたい。		
展 開 の 大 要	<p>①自分の目指す生き方とは？ 心のノートp. 73</p> <p>②「五十銭玉だったね」といわれ、思わず「うん」といったとき、筆者はどんな気持ちだったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうしても足袋が必要だった。 ・自分はずるい人間だ。 ・誰でもそうするだろう。 <p>③おばあさんの死を知って、筆者はなぜ、泣けて泣けてどうしようもなかったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・謝りたいのにできなかった。 ・今の自分を見てほしかった。 <p>④おばあさんが筆者にくれた心とはどんな心だったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誠実な生き方を求める心 ・誇りある生き方を求める心 <p>⑤それ以後、筆者はどのような生き方を心がけてきたと思いますか。あなたの考えを書きましょう。</p>	
関 連	・心のノート p. 73	
授 業 改 善 の た め に		

2 月	第 1 週	【主題名】 家族への敬愛
【資料名】 天使の舞い降りた朝		【内容項目】 4－(6)
<p>【ねらい】</p> <p>親の無私の愛情に感謝し、自己の生き方を顧みながら、家族とよりよい関係を築こうとする態度を育成する。</p>		
<p>【主題構成の理由】</p> <p>祖父母や父母があつて自分が存在することを自覚し、そうした自分を取り巻く人たちの無私の愛情に支えられていることをあたりまえとするのではなく、家族を敬愛し、家族の一員として自分にできることはどんなことであるかを問い続けながら生活を築こうとする態度を育てたい。</p>		
展 開 の 大 要	<p>①どんな思いで母は胸の傷跡を見せたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間がない ・うそをつくなんて悲しい <p>②病気が進行する中で、母はどんなことを考えていたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あの子の将来はどんなだろう。 ・あの子を誰が守ってやるのだろう。 ・死んでいく自分が悔しい <p>③どんな思いで母は高校の入学案内を渡したのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私ができる最後のこと ・好きな道を精一杯頑張してほしい <p>④「やっちゃんの歌がききたい」といった母の言葉から「ぼく」はどんなことを汲み取ったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分に対する母の愛情や願い ・母さんのためにも精一杯生きていこう。 	
関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・心のノート p. 102, 103 「家族だからこそ」 ・学校行事 ・学級活動 ・家庭科 ・社会 	
授 業 改 善 の た め に		

2 月	第 2 週	【主題名】 人類への愛
【資料名】 もっと生きたい		【内容項目】 4 - (10)
<p>【ねらい】</p> <p>国際的視野に立ち、人類愛の精神を持って、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を養う。</p>		
<p>【主題構成の理由】</p> <p>国際社会の一員としての自覚をもって世界の平和と人類の幸福に貢献できる能力を身につけることは必要なことである。そして、病気や飢えで苦しむ人々に対しては、人類愛の精神に基づいて、積極的に援助の手をさしのべていかなければならない。</p>		
展 開 の 大 要	<p>① 作者はスキンシップを求めるのに「かなり勇気がいりました」といっているがなぜだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても汚かったから。 ・病気が移ると困るから。 <p>② 作者が勇気をもってスキンシップを試みたのはどのような心の変化からだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉が通じない外国の人々と心を通わせたいと思ったから。 ・病気を恐れていたは、子どもたちと親しくなれないと感じたから。 ・子どもたちの表情が勇気をくれたから。 <p>③ アフリカでの体験を通して、作者が強く感じた事はなんだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この子達を救うためには、世界中の人たちが手を差し伸べなければならない。 ・ここにいる間に少しでもいい時間の過ごし方をしたい。 <p>④ 世界の平和や人類の幸福のために、自分たちに何が出来るか話し合おう。</p>	
関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・心のノート p. 118, 119 「世界の平和と人類の幸福を考える」 ・社会 	
授 業 改 善 の た め に		

2 月	第 3 週	【主題名】 奉仕のこころ
【資料名】 加山さんの願い		【内容項目】 4 - (5)
【ねらい】 社会への奉仕の気持ちを深め、進んで公共の福祉のために尽くそうとする意欲を高める。		
<p>【主題構成の理由】</p> <p>働くことの意義について、社会のためや社会生活の向上のためにも必要なことであることは理解できる年齢になっている。また、社会への福祉や公共の福祉のために寄与することが求められる時代になっている。人間としてのあり方、行き方の問題として、働くことの意義や社会への奉仕、公共の福祉について認識を深めさせ、進んで取り組む意欲や実践的態度を育成することが大切である。</p>		
展 開 の 大 要	<p>①加山さんがボランティアを始めるきっかけとなったのはなにか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの佐藤さんの死。 ・定年して時間ができたから。 <p>②すごすご帰る加山さんが、心の中でつぶやいたのはどんなことだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・せっかくたずねてやっているのに、なんだあの態度は。 ・ボランティアをしてあげているのに、腹立たしい。 ・訪ねてもらえば嬉しいのが普通だろう。 <p>③加山さんが「肩の力みがぬけてなにをするのも楽になった」のは、どうしてだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世話をしてあげているということで、自分だけがいい気分になっていたことに気づいたから。 ・世話をする・されるという関係ではなく、誰とでも自然と生きていけばいいのだと思ったから。 <p>④人間どうしが差さえあって生きるために大切な心がまえについて話し合おう。</p>	
関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・心のノート 	
授 業 改 善 の た め に		

3 月	第 1 週	【主題名】 人間への慈しみ
【資料名】 もっとも悲しむべきことは、病めることでも貧しいことでもなく		【内容項目】 4－(10)
<p>【ねらい】 どの国の人々も同じ人間として尊重し、世界平和と人類の幸福に貢献しようとする態度を育成する。</p>		
<p>【主題構成の理由】 自らの家族のように人類を愛することが、世界に平和と幸福をもたらす。指導では、すべての人を人間として尊重し、この星の一員として自覚を持って、世界の平和と幸福に貢献しようとする態度を育成することが重要である。</p>		
展 開 の 大 要	<p>①死を目前にした老婆を抱えて、病院に掛け合ったマザーはどんな気持ちだったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命ある限り、見捨ててはいけない。 ・どんな人にも愛を与えられる権利がある。 <p>②「カルカッタにはそういう人は何百人といる」という院長の言葉を正しいと受け取ったマザーはどんなことを感じ、考えていたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何とかしなければならない。 ・自分ができることは何だろう。 <p>③マザーは「死を待つ人の家」に運ばれてくる人々に対して、どんな思いで接していたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あなたも望まれて生まれてきた大切な人なのだ。 ・どんな命も尊いものだ。 ・あなたも愛されていることを知ってほしい。 <p>④マザーの生き方を支えているものは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人類愛 ・無償の愛 ・誰もが愛し合いされる存在であるという信念。 	
関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・心のノート p. 118, 119 「世界の平和と人類の幸福を考える」 ・生徒会活動 ・総合的な学習の時間 ・社会 	
授 業 改 善 の た め に		

3 月	第 2 週	【主題名】 志高く生きる
【資料名】 風に立つライオン		【内容項目】 1 - (4)
【ねらい】 真理を愛し、理想の実現をめざして自分の人生を切り拓いていこうとする態度を育てる。		
【主題構成の理由】 絶えず自分自身を見つめ、真理を愛し、真実を求めて、心からこうありたいと願う理想の自己を実現させるため、積極的に自分の人生を切り拓いていこうとする意欲を培うことが大切である。		
展 開 の 大 要	<p>①あなたは医者のお卵です。恋人もいます。そんなあなたのところへアフリカの子どもたちを助けるために医療活動の誘いが来ました。条件は単身で三年以上の勤務です。あなたは、どうしますか。その理由は。</p> <p>行く 自分の人生だから悔いのないように生きたい 行かない 恋人との人生も大事</p> <p>②あなたは恋人です。最愛の人が行くべきか悩んでいます。あなたならどうしますか。その理由は。</p> <p>行かせる 愛する人にしたいことをさせてあげたい。 止める 私と仕事とどっちが大切なの？</p> <p>③「風に向かって立つライオンでありたい」とはどういう生き方を言うのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の理想に向かって進み続ける生き方。 ・高い志をもった気高い生き方。 <p>④自分の夢を実現させるためには何が必要で、どんなことが大切なのだろう。</p>	
関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・心のノート p. 26, 27 「自分の人生は自分で切り拓こう」 ・学級活動 卒業にむけて 	
授 業 改 善 の た め に		